

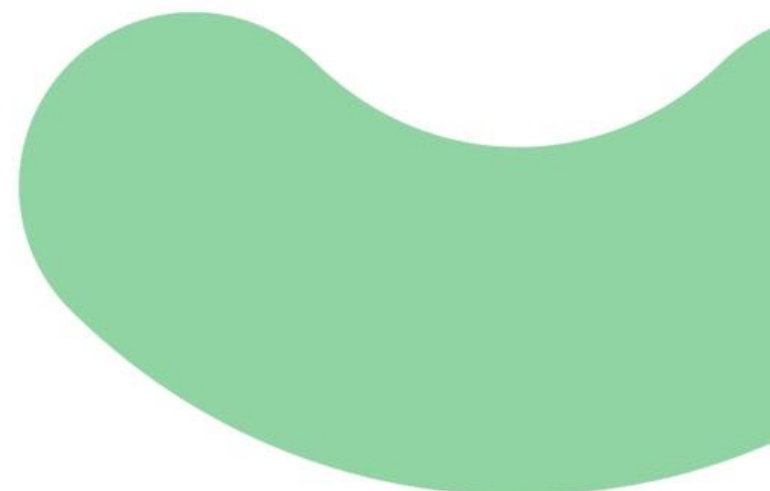


# 2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

---

ウェルビー株式会社

証券コード：6556



## 1. 会社・事業概要

## 2. 2020年3月期第2四半期決算の概要

## 3. Appendix

### a. 2020年3月期の業績予想概要

### b. その他のトピック

## 経営理念

全従業員の自己実現と幸福を追求するとともに、  
すべての人が「希望」を持てる社会の実現に向けて

## 発行済株式数／株主数

発行済株式数 **27,795 千株**  
株主数 **4,373 名**

## 事業内容

### 障害福祉サービス事業

#### ① 就労移行支援事業：

就労移行支援事業所：69センター

就労定着支援事業所：54センター

特定相談支援事業所：3センター

埼玉県委託発達障害者就労支援センター：2センター※1

自立訓練（生活訓練）事業所：1センター※2

#### ② 療育事業：

児童発達支援事業所：22教室

放課後等デイサービス事業所：6教室

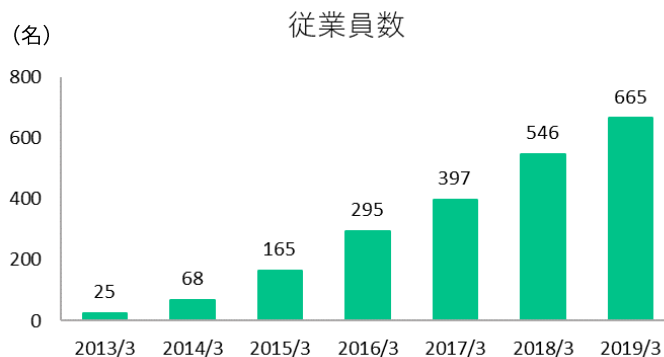
※1 以下「ジョブセンター」と称する

※2 以下「ウェルビーチャレンジ」と称する

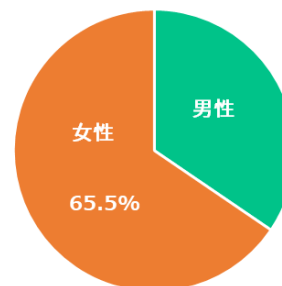
## 従業員数

**720名**

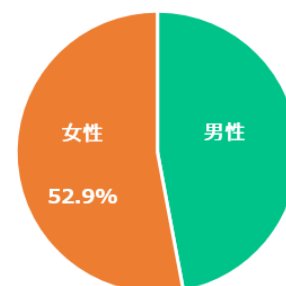
臨時従業員、パートタイマーは除く



### 従業員の男女割合



### 管理職の男女割合



- 2011年12月 ● **設立**
- 2012年 4月 ● **就労移行支援事業**を開始 ウェルビー西船橋センターを開設
- 2012年11月 ● **3センター**同時設立 ウェルビー航空公園駅前センター、新越谷駅前センター、松戸センター
- 2014年 6月 ● **未就学児向け**に療育事業を開始（児童発達支援事業） ハッピー川越教室を開設  
**発達障害者**に特化した就労支援事業を開始 ジョブセンター草加を開設
- 2015年 4月 ● **関東圏以外**への進出開始 ウェルビー名古屋駅前センターを開設
- 2016年11月 ● **小中高生向け**に療育事業開始（放課後等デイサービス事業） ハッピープラス川越教室を開設
- 2017年10月 ● **東証マザーズ**上場
- 2018年 4月 ● **就労定着支援事業**を開始 新大阪センター・荻窪駅前センターを開設
- 2019年 4月 ● **ウェルビーリンク**を設立 当社完全子会社。企業向けに障害者雇用の総合的なコンサルティング業務を提供
- 2019年 9月 ● **97拠点**を運営  
\*主要3事業所（ウェルビー、ハッピー、ハッピープラス）の合計

## ■ 未就学児から成人までの年齢層に対して、隙間のない障害福祉サービスを提供

### 就労移行支援事業（18歳以上65歳未満）

就労希望障害者への職業訓練、求職活動支援、職場定着支援

- **ウェルビー**

「障害者総合支援法」に基づくサービス  
就労移行支援事業所の運営



- **その他**

就労定着支援事業所、特定相談支援事業所、  
ジョブセンター、ウェルビーチャレンジの運営

### 療育事業（18歳以下）

障害児への成長・発達の支援・指導

- **ハビー**

「児童福祉法」に基づくサービス  
児童発達支援事業所（未就学児向け）の運営



- **ハビープラス**

「児童福祉法」に基づくサービス  
放課後等デイサービス事業所（小中高生向け）の運営

大人

就労移行支援事業所



小・中・高生

放課後等デイサービス事業所

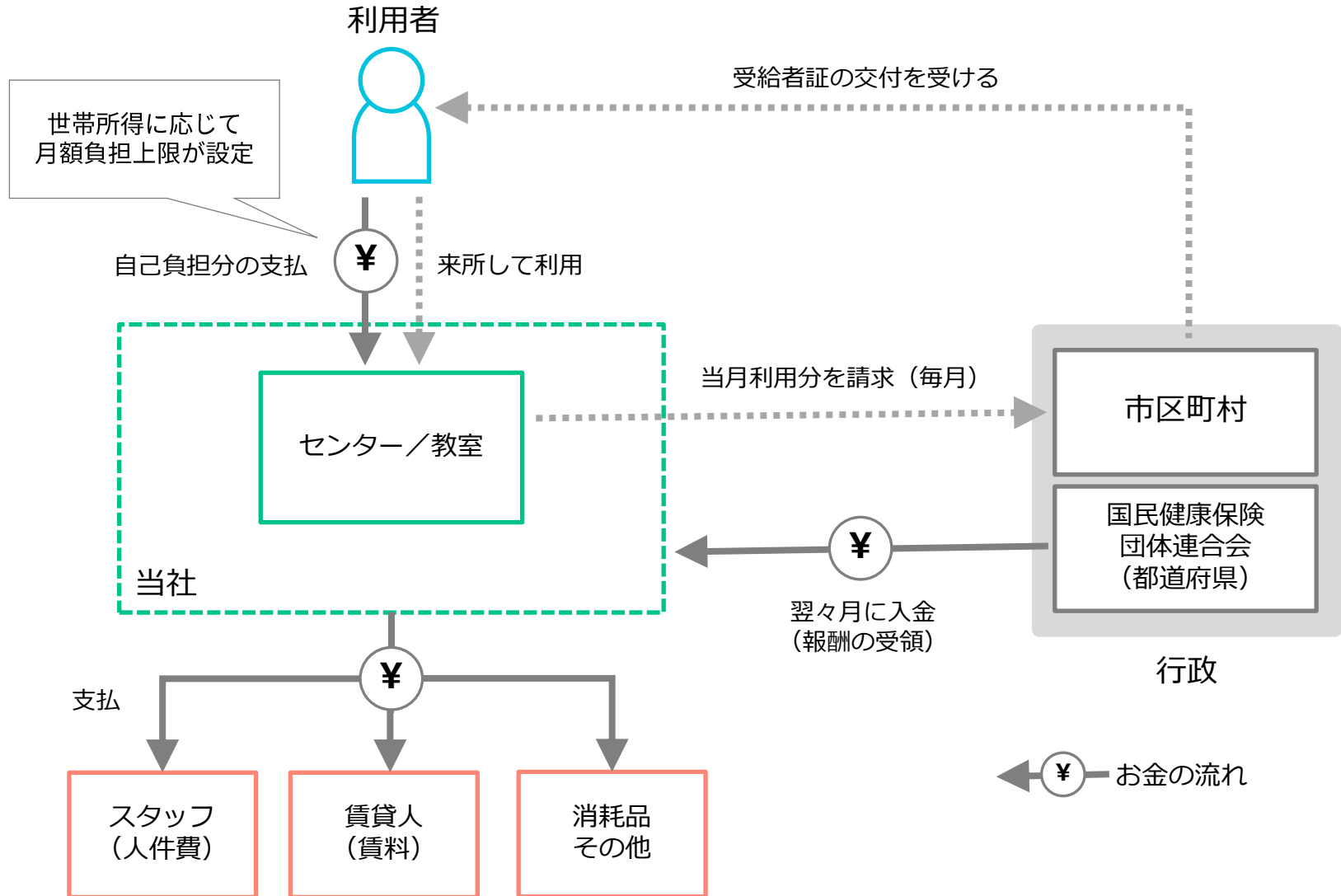


未就学児

児童発達支援事業所



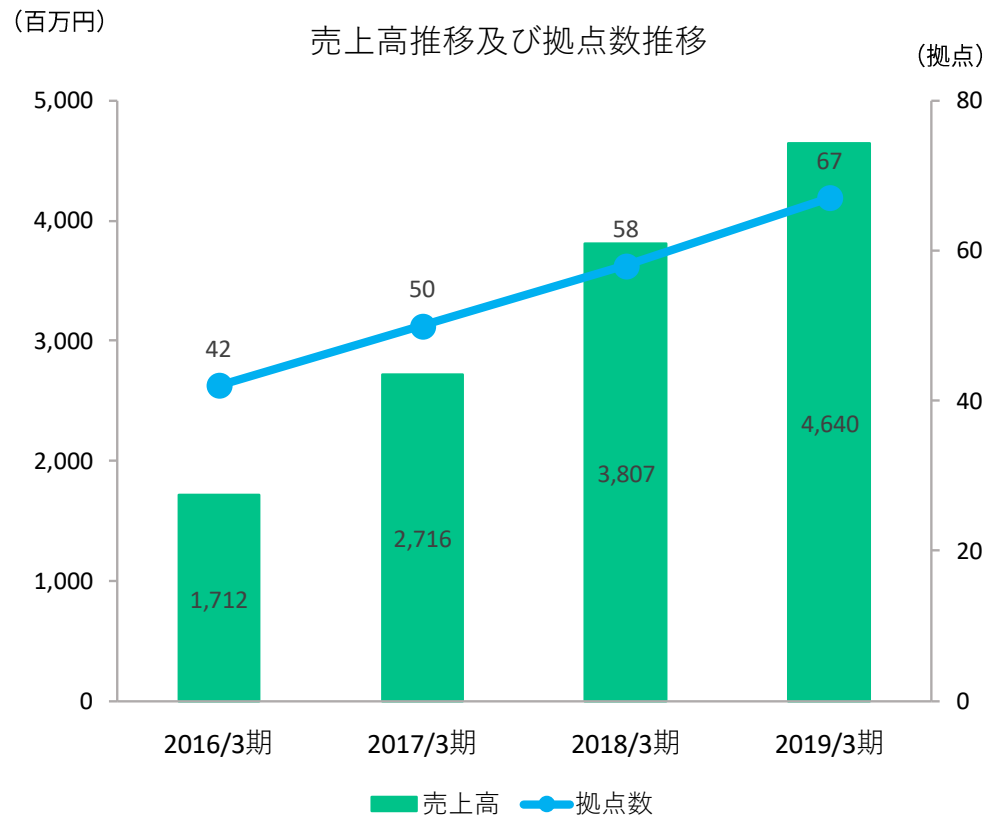
## ■ 利用者の利用日数に応じて、行政および利用者から報酬を受領するビジネスモデル



首都圏を核に全国規模で事業所の開設が進行

就労移行支援事業所  
「ウェルビー」  
全国の事業所数 **69** 拠点

(2019年9月30日現在)



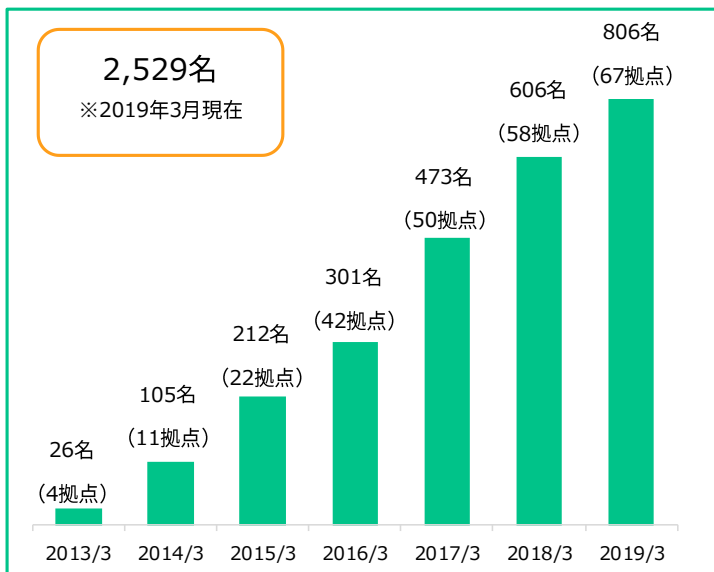
※括弧内の数字は、定着支援事業所を併設しているウェルビーの事業所数

出所：当社HPより

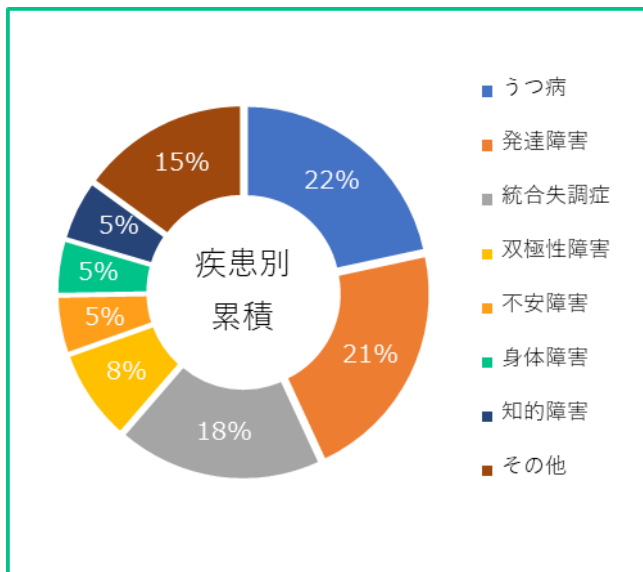
## ■ 就労先担当者との定期的な連絡・相談を通じて、職場定着をサポート

✓ 障害特性及び配慮の方法、職場での接し方や指示の出し方等、利用者の業務習得に向けたアドバイス

### 年度別就職者数

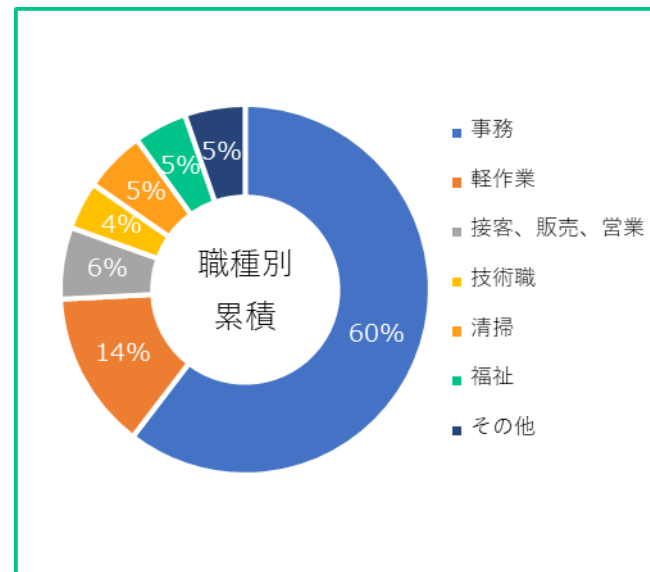


### 疾患別就職実績割合



※ うつ病～不安障害までの精神疾患で74%

### 職種別就職先割合



※事務職が多く70%以上の方が未経験職種に就職

直近1年間の6ヶ月定着率

# 87.2%

※2017年10月～2018年9月の間に当社事業所を経て就職した利用者のうち、6ヶ月以上就労定着した者の割合



## 首都圏から教室の新設を推進

ハッピー  
全国の教室数 **22** 拠点

ハッピープラス  
全国の教室数 **6** 拠点

(2019年9月30日現在)

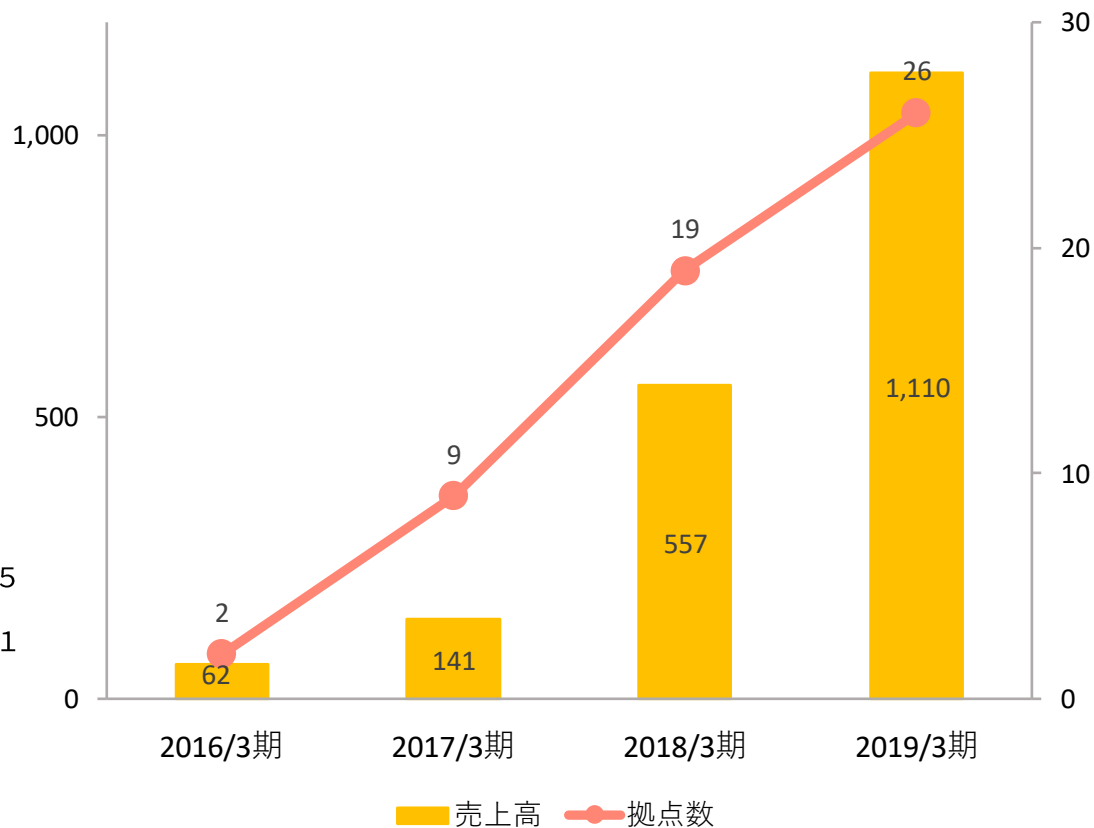


出所：当社HPより

(百万円)

(拠点)

売上高推移及び拠点数推移



## ① 業務マニュアルの整備及び内部監査

業務マニュアルの整備・運用により、一定以上のサービス品質を確保

内部監査による有効性の評価

## ② 地域連携・地域密着

事業所のある地域の公共団体・障害福祉機関、病院、教育機関等、関連諸機関との連携

展開地域での強固なネットワークを構築

## ③ サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の養成・輩出

同責任者の開所時点での配置が義務化(※)され、人材確保が一層困難に

当社は、社内から養成・輩出が可能

※2018年3月31日までに新規指定を受けた場合、事業開始後1年間は、猶予期間として、本来必要な研修が未修了でも、同責任者として配置することが可能であった。

## ①研究成果を学会等で発表（直近1年）

発表時期	学会名・発表会名	発表内容
2018年12月	就労支援フォーラム NIPPON2018	職場にふさわしい役割行動を育むために就労移行でできること—仕事の模擬体験プログラム『企業実践』を通じて—
	日本精神障害者リハビリテーション学会 第26回東京大会	就労移行支援事業所におけるセルフモニタリングシートの活用—自己効力感を高める関わりを通して就労準備性が向上した事例—
2019年2月	第38回 日本社会精神医学会	超簡易型認知行動療法を活用した社内メンタルヘルス研修—支援員のストレス対処能力向上を目指して—
2019年9月	「技能と技術」への論文掲載	精神障害者が長く働き続けるために—自信をつけ、自己理解を深める就労支援の取り組み—

## ②実践報告会 (Wel-1cup)の実施

- 各事業所独自の実践や成功事例を発表
- 社内全体でノウハウを共有することで、支援力の向上を目指す

## ③フォーラム、セミナーの主催

- 2019年9月 「雇用促進セミナー」(福岡県)
- 11月 「就労フォーラム in 福岡2019」(福岡県)
- 11月 「第4回 ウェルビー就労フォーラム」(東京都)



## ④官公庁からの業務受注

- 2019年8月 内閣官房「障害者ワーク・サポート・ステーション (WSS) の運営支援等業務」を受注  
「WSS」は、府省等からの依頼に応じて、障害者（実習生）を一定期間継続して派遣します。  
当社の支援員は、実習生とともに派遣され、府省等が発注する業務について実習生の業務を指導します。  
また府省等に対し、業務の切り出しや環境整備等に係る相談に応じ、助言等を行います。
- その他、中央省庁や地方公共団体から、障害者の採用や定着等に関するアドバイザー業務を受注

■ 企業に対して、障害者雇用の総合的なコンサルティング業務を提供する「ウェルビーリンク」を設立



企業と障害をもつ人とのマッチングを行い、  
お互いに良い循環を生み出し、発展していくという思いを、  
このロゴマークに込めております。



## 会社概要

- 商号 ウェルビーリンク株式会社  
(英文名 Welbe Link Inc)
- 代表 浜地裕樹 (当社専務取締役を兼務)
- 資本金 500万円 (ウェルビー100%出資)
- 設立日 2019年4月25日
- ホームページ公開  
(<https://www.welbe-link.co.jp/>)

## 事業概要

- 職務選定・創出サポート
- 企業向け研修
- 障害者向け個別サポート
- 人材紹介 (有料職業紹介事業)
- サテライトオフィスの運営

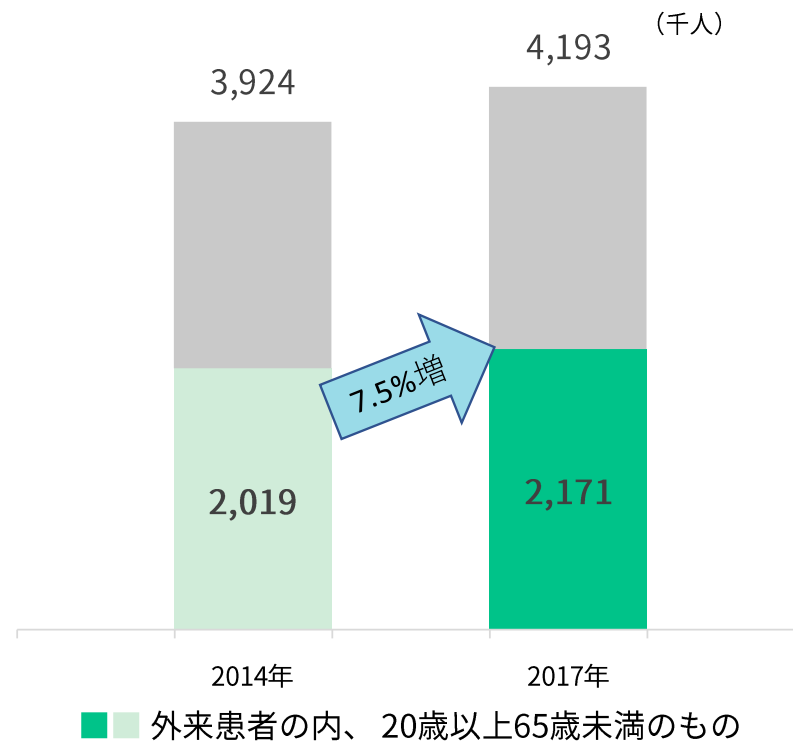
■ 20歳以上65歳未満の在宅の精神障害者数は2,171千人

■ 日本の生産年齢人口の約2.9%

(千人)

	総数	在宅者／ 外来患者	18歳以上 65歳未満 ※	施設 入居者
身体障害児・者	4,360	4,287	1,013	73
知的障害児・者	1,082	962	580	120
精神障害者	4,193	3,891	2,171 20歳以上65歳未満	302
総計	9,635	9,140	3,764	495

精神障害者数の推移



※ 日本の生産年齢人口：75,114千人（2019年5月1日現在）

出所：令和元年版 障害者白書（内閣府）、人口推計平成31年10月報（総務省統計局）より当社作成

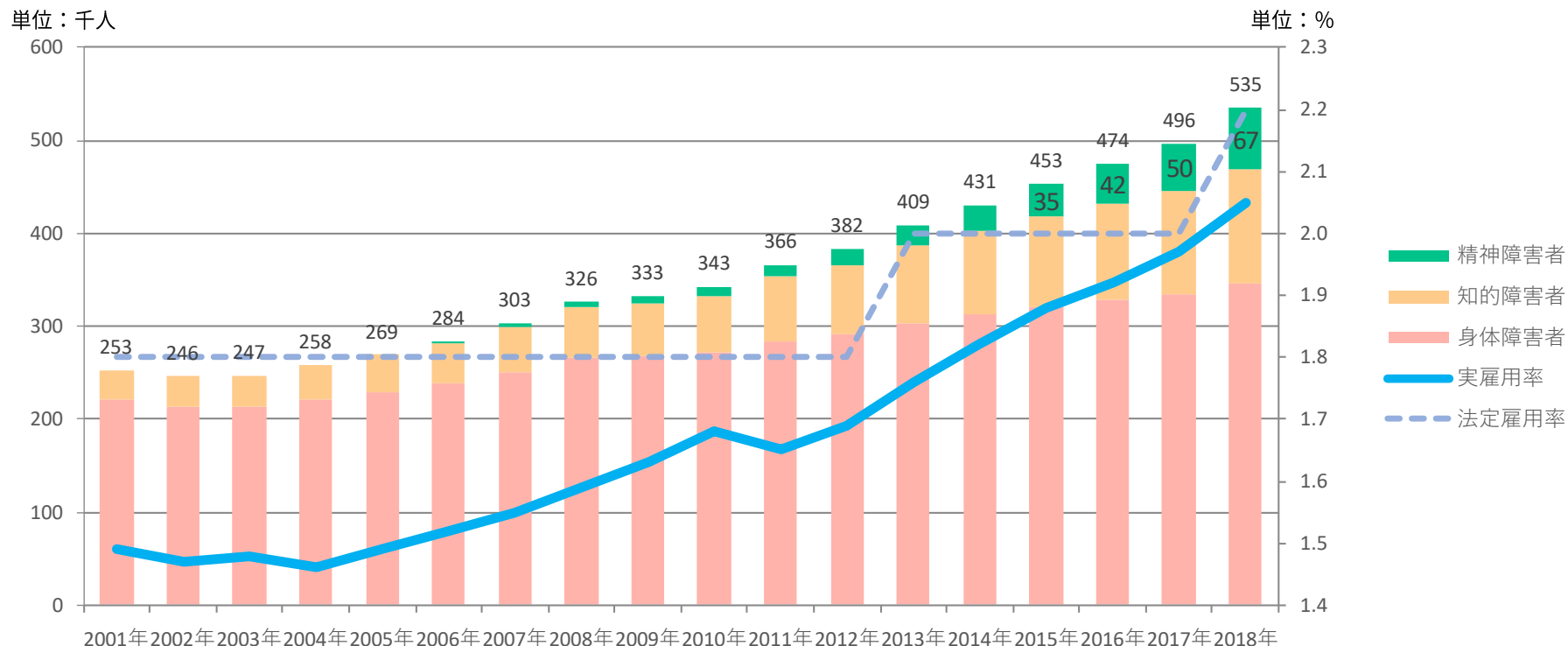
■ 雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新、雇用障害者数は15年連続で過去最高

■ 2018年4月より法定雇用率を2.2%に引き上げ、2020年度更に2.3%に引き上げ

■ 「働き方改革実行計画の決定は、日本の働き方を変える改革にとって、歴史的な一歩」

実行計画指標：就労移行支援事業所等の利用を経て一般就労へ移行する者を2020年度までに

2016年度実績の1.5倍以上（第10回働き方改革実現会議（2017年3月28日）における総理発言等より抜粋）

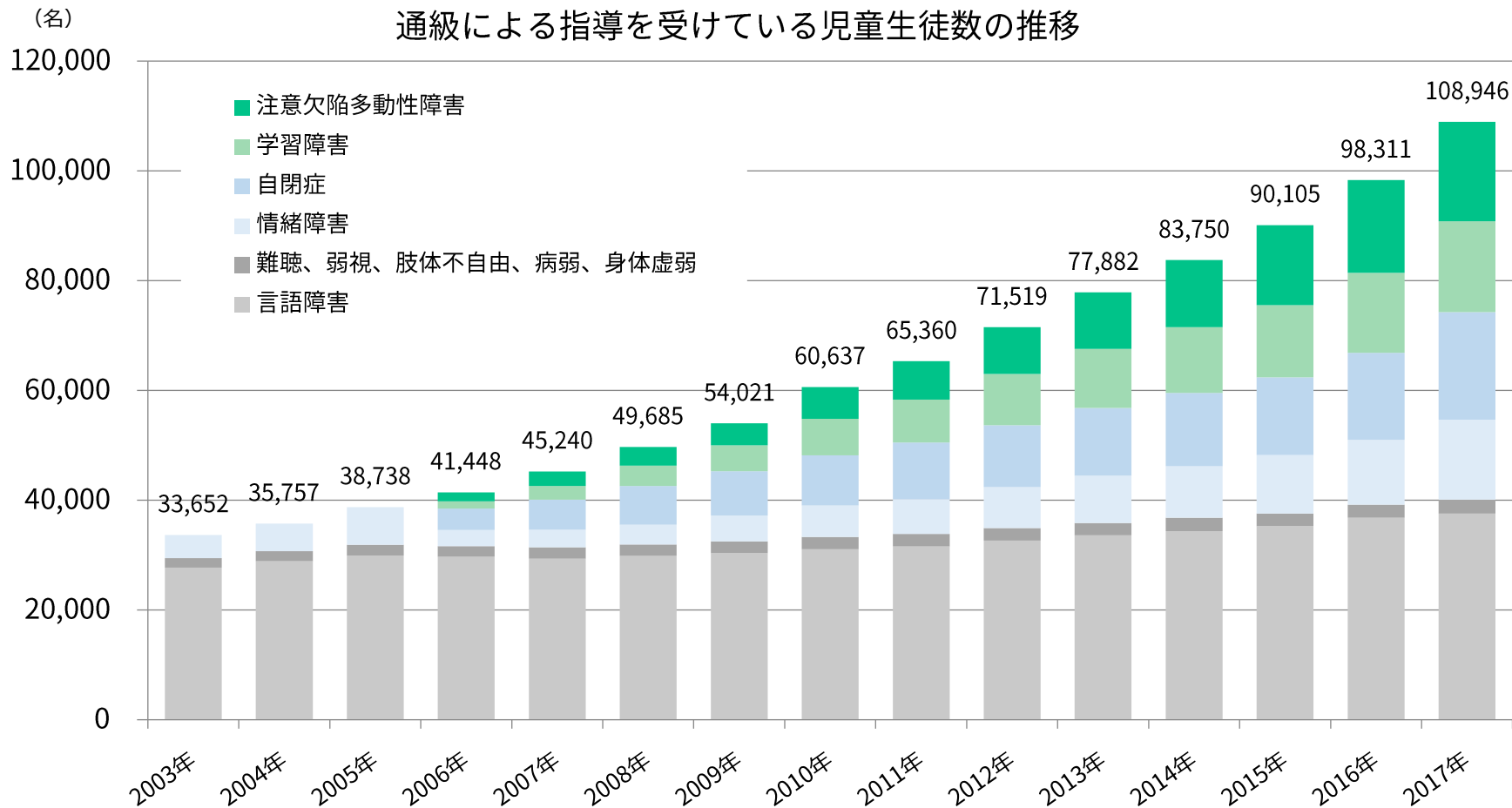


出所：平成30年 障害者雇用状況の集計結果（厚生労働省）

■ 通常学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒数の割合 6.5% (2012年12月 文部科学省調べ)

■ 通級による指導 (※) を受けている児童生徒数は年々増加

※大部分の授業を在籍する通常学級で受けながら一部の時間で障害に応じた特別な指導を受ける



出所：文部科学省：平成29年度通級による指導実施状況調査結果について

1. 会社・事業概要
2. 2020年3月期第2四半期決算の概要
3. Appendix
  - a. 2020年3月期の業績予想概要
  - b. その他のトピック



## 決算概要

### ■売上高32.9億円、営業利益9.5億円、経常利益9.5億円、純利益6.1億円

- ✓ 前年同四半期比で売上高15.2%増、営業利益16.7%増、経常利益17.0%増、純利益18.8%増
- ✓ 売上高営業利益率28.8%、売上高経常利益率28.8%

### ■業績予想に対して、順調に進捗

- ✓ 2020年3月期は、売上高67.4億円、営業利益17.9億円、経常利益17.9億円、当期純利益12.2億円を予想
- ✓ 通期業績予想に対する進捗率は、売上高48.8%、営業利益52.9%
- ✓ 半期業績予想に対する達成率は、売上高100.9%、営業利益108.4%

### ■前年同四半期に対して、営業利益率は+0.4%

- ✓ 売上高は、就労移行支援事業では10.8%増、療育事業では36.5%増。利用者を堅調に獲得
- ✓ 売上原価は、16.8%増(2.7億円)。拠点数増加に伴う人件費の増加が主な要因。売上原価率は0.8%増加
- ✓ 販売費及び一般管理費は、5.7%増(0.2億円)。売上高販管費率は、1.2%改善

### ■中間配当は、期初計画通り4.4円を実施。

## 事業の展開

### ■出店の状況

- ✓ 期初計画においては、就労移行支援事業所6拠点、療育事業所6拠点、合計12拠点を開設予定
- ✓ 第2四半期累計期間においては、就労移行支援事業所2拠点、療育事業所2拠点、合計4拠点を開設

### ■ウェルビーリンク

- ✓ 1,000万円を出資し、当社100%子会社であるウェルビーリンクを4月に設立
- ✓ 企業に対して、障害者雇用の総合的なコンサルティング業務を提供する予定
- ✓ 有料職業紹介（人材紹介業）を9月に開始

■ 第2四半期では、売上高、各段階利益ともに順調に推移

✓ 前年同四半期実績と比較して、売上高4.3億円増、営業利益1.4億円増、経常利益1.4億円増、純利益1.0億円増

科 目	2020年3月期 2Q		2019年3月期 2Q		前年同四半期比	
	Apr. - Sept.		Apr. - Sept.		増減額 (百万円)	増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比		
売 上 高	3,286	100.0%	2,853	100.0%	433	15.2%
売 上 総 利 益	1,378	41.9%	1,219	42.7%	158	13.0%
営 業 利 益	946	28.8%	810	28.4%	135	16.7%
経 常 利 益	948	28.8%	810	28.4%	137	17.0%
純 利 益	614	18.7%	517	18.1%	97	18.8%

## ■ 業績予想に対し、第2四半期の進捗率は順調に推移

- ✓ 半期業績予想に対して、売上高、各段階利益ともに100%超を達成
- ✓ 通期業績予想は据え置きとするが、利用者数の堅調な推移を想定。一方で、出店コストの増加を見込む。

科 目	2020年3月期	2020年3月期		2020年3月期	
	2Q実績	通期予想		2Q予想	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	進捗率	金額 (百万円)	達成率
売 上 高	3,286	6,737	48.8%	3,257	100.9%
営 業 利 益	946	1,788	52.9%	873	108.4%
経 常 利 益	948	1,787	53.0%	872	108.7%
純 利 益	614	1,216	50.6%	562	109.3%

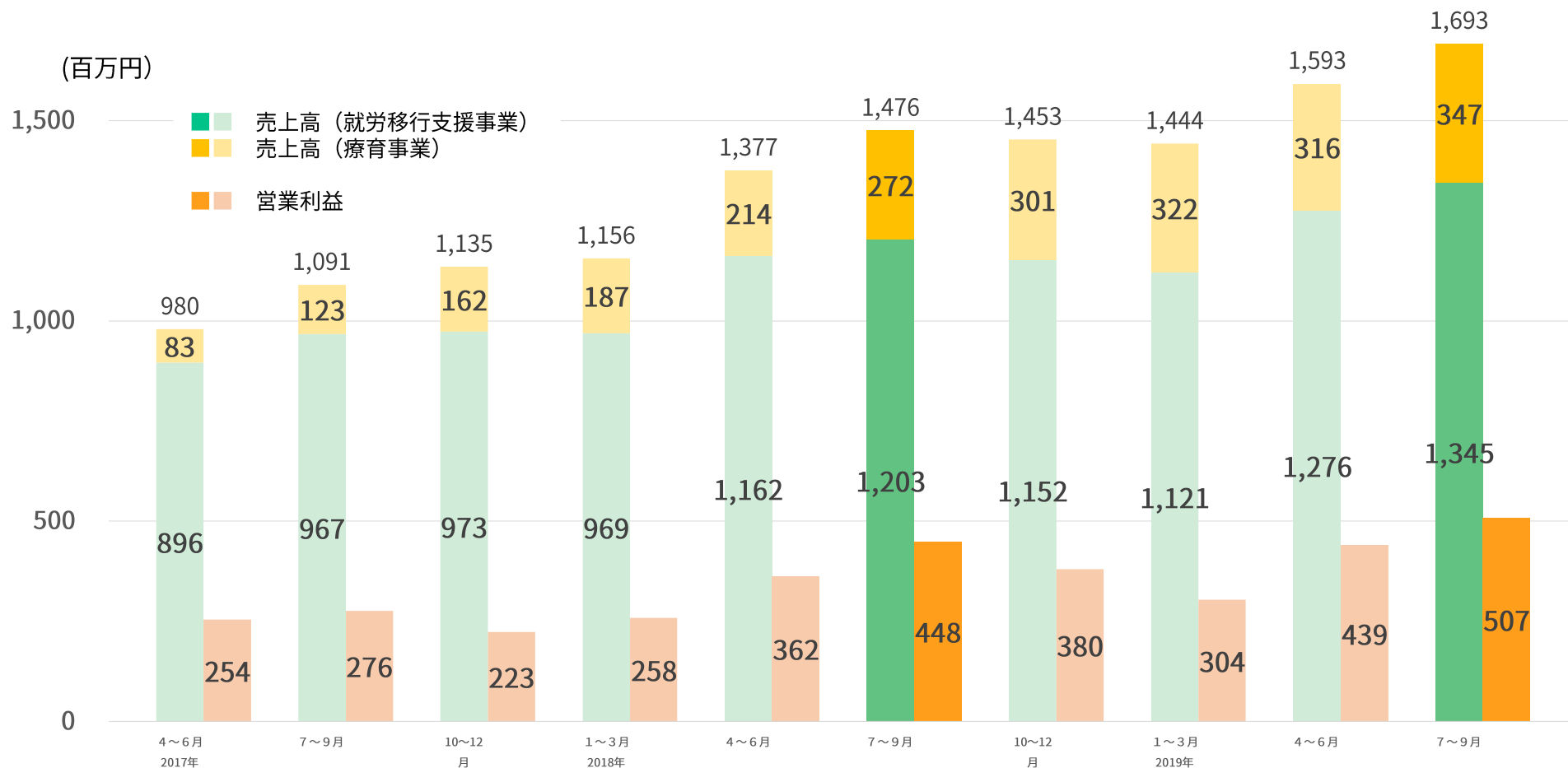
■第2四半期会計期間は、**前四半期比**で、売上高、各段階利益、ともに伸長

- ✓ 売上高は、利用者数の増加により伸長
- ✓ 各段階損益も、売上高の増加に伴って伸長

科目	2020年3月期 1Q		2020年3月期 2Q		前四半期比 (1Q vs 2Q)	
	Apr.- June		July- Sept.		増減額 (百万円)	増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比		
売上高	1,593	100.0%	1,693	100.0%	+100	+6.3%
就労移行支援事業	1,276	80.1%	1,345	79.5%	+68	+5.4%
(就労移行報酬)	(1,237)	(77.7%)	(1,301)	(76.8%)	+63	+5.1%
(定着支援報酬)	(39)	(2.5%)	(44)	(2.6%)	+5	+14.1%
療育事業	316	19.9%	347	20.5%	+31	+9.9%
売上総利益	649	40.8%	728	43.0%	+78	+12.1%
営業利益	439	27.6%	507	30.0%	+68	+15.5%
経常利益	440	27.6%	508	30.0%	+67	+15.4%
純利益	277	17.4%	337	19.9%	+59	+21.5%

■ 売上高、営業利益ともに、過去最高額を更新

✓ 就労移行支援事業、療育事業ともに、利用者を順調に獲得。

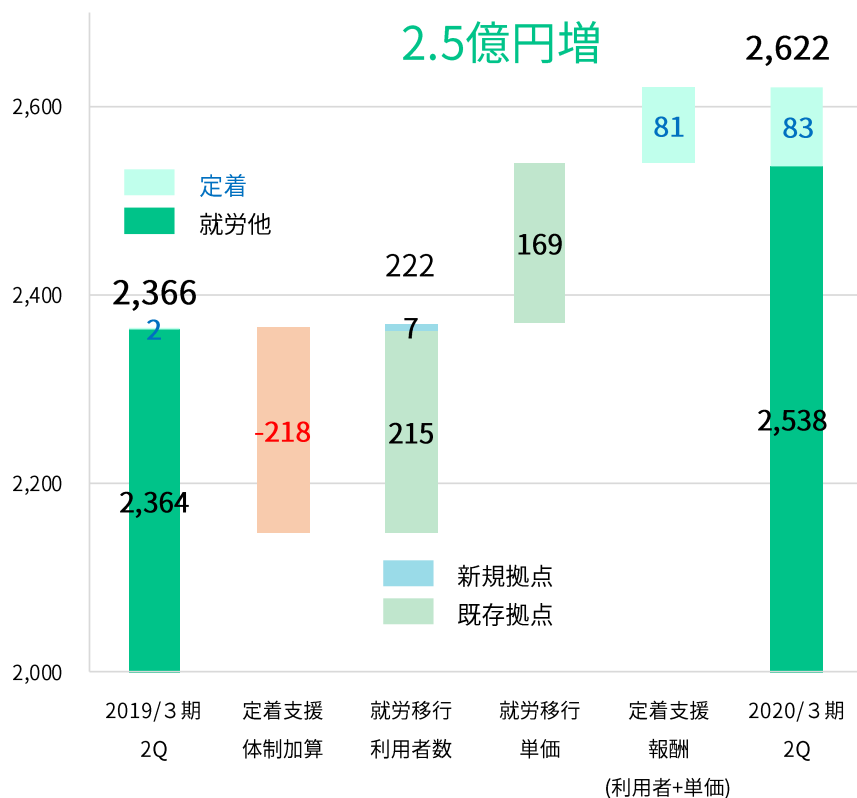


■ **就労移行支援事業**の売上高は前年同四半期比で10.8%増、**療育事業**の売上高は前年同四半期比で36.5%増

✓ 新規拠点、既存拠点のいずれも、利用者を順調に獲得し、売上に貢献

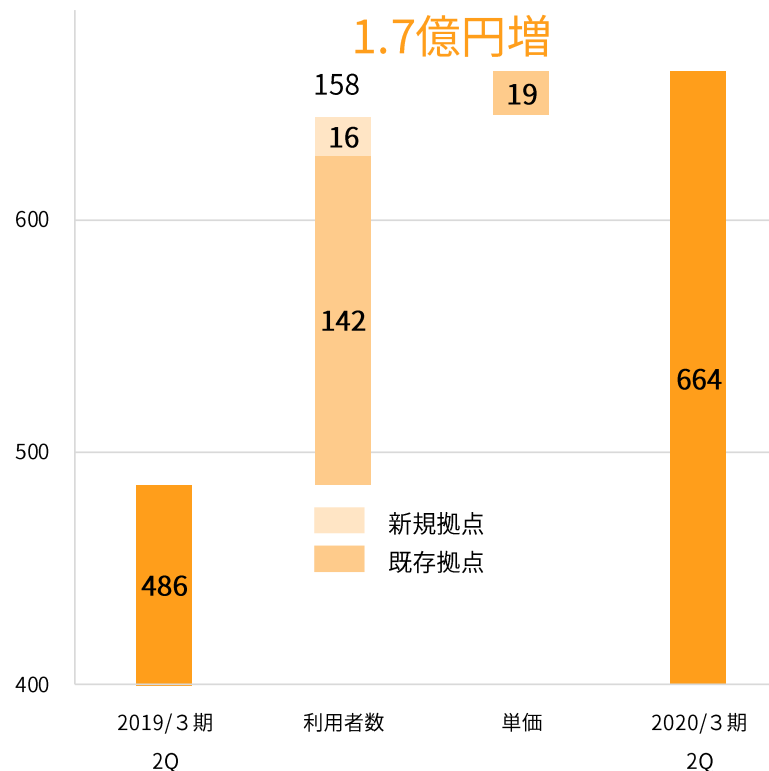
(単位：百万円)

売上高(就労移行支援事業)



(単位：百万円)

売上高(療育事業)



※上記の売上高の増減要因分析におけるそれぞれの項目は、簡易的に算出した内部管理用の参考値です。

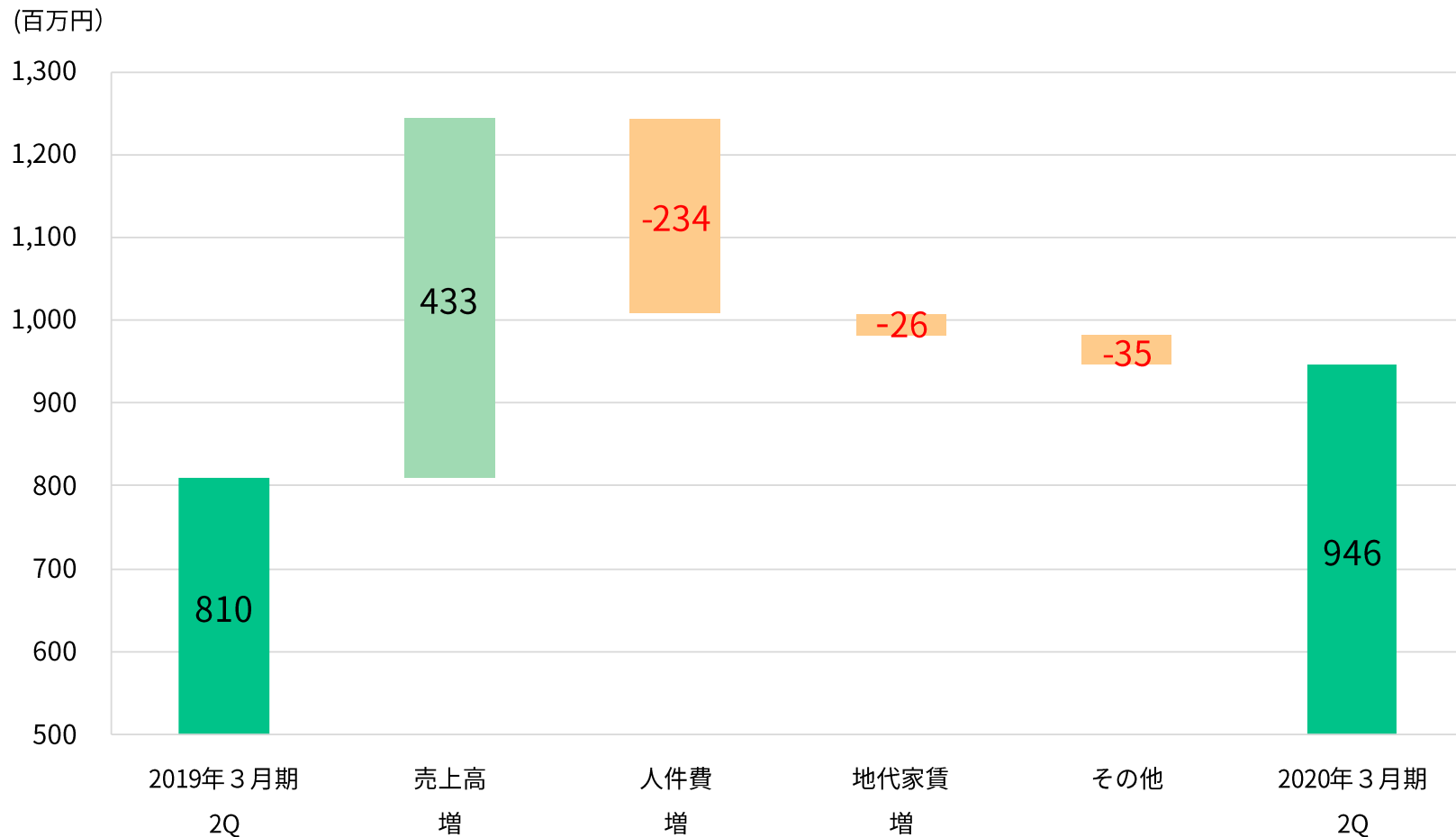
※差異分析「利用者数」における「新規拠点」の金額は、2019年4月以降に開所した事業所の利用者数を対象として算出しております。

■ 売上原価は16.8%(274百万円)増加、販管費は5.7%(23百万円)増加。営業利益率は改善

- ✓ 売上原価の増加の大部分を占めるのは、拠点数増加に伴う人件費の増加
- ✓ 売上原価率は0.8%上昇(総利益率の減少)。前期は、9月まで、期間限定の加算(定着支援体制加算)が設定されていたため
- ✓ 販管費は、本部機能強化に伴う人件費の増加等により増加。売上高販管費率は、1.2%減少(改善)。

科 目		2020年3月期 2Q		2019年3月期 2Q		前年同四半期比				
		Apr. - Sept.		Apr. - Sept.						
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)				
売	上	高	3,286		2,853	+433				
売	上	原	1,366	71.6%	1,141	+225				
		価	193	10.1%	168	+25				
		率	348	18.3%	324	+23				
		率	1,908	100.0%	1,634	+274				
売	上	原	価	率		58.1%	57.3%	+0.8%		
売	上	総	利	益	1,378		1,219	+158		
販	管	費	197	45.7%	187	+9				
		費	80	18.7%	74	+6				
		費	153	35.6%	146	+7				
		費	431	100.0%	408	+23				
売	上	高	販	管	費	率		13.1%	14.3%	-1.2%
営	業	利	益	946		810	+135			
営	業	利	益	率		28.8%	28.4%	+0.4%		

■ 営業利益は前年同四半期比で135百万円増加



※上記の営業利益の増減要因分析における金額は、売上原価と販売費及び一般管理費の合計となります。



- 資産は、売上増に伴う売掛金の増加、  
業績管理システムの稼働に伴う 無形固定資産(ソフトウェア)の増加等により増加
- 自己資本比率は、77.2%に改善

科目	2020年3月期 2Q		2019年3月期		増減	増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比		
流動資産	3,074	78.1%	2,919	78.8%	+155	5.3%
固定資産	863	21.9%	787	21.2%	+75	9.6%
総資産	3,938	100.0%	3,707	100.0%	+231	6.2%
負債	898	22.8%	1,167	31.5%	-269	-23.1%
(負債のうち、社債及び借入金の残高)	(272)	(6.9%)	(383)	(10.3%)	(-111)	(-29.1%)
純資産	3,040	77.2%	2,539	68.5%	+500	19.7%
自己資本比率	77.2%		68.5%			8.7%

流動資産の増減要因	
・現金及び預金の増加	(+ 12百万円)
・売上増に伴う売掛金の増加	(+ 140百万円)

固定資産の増減要因	
・無形固定資産の増加	(+24百万円)

負債の増減要因	
・社債及び借入金の支払いによる減少	(- 111百万円)
・未払金の減少	(- 76百万円)

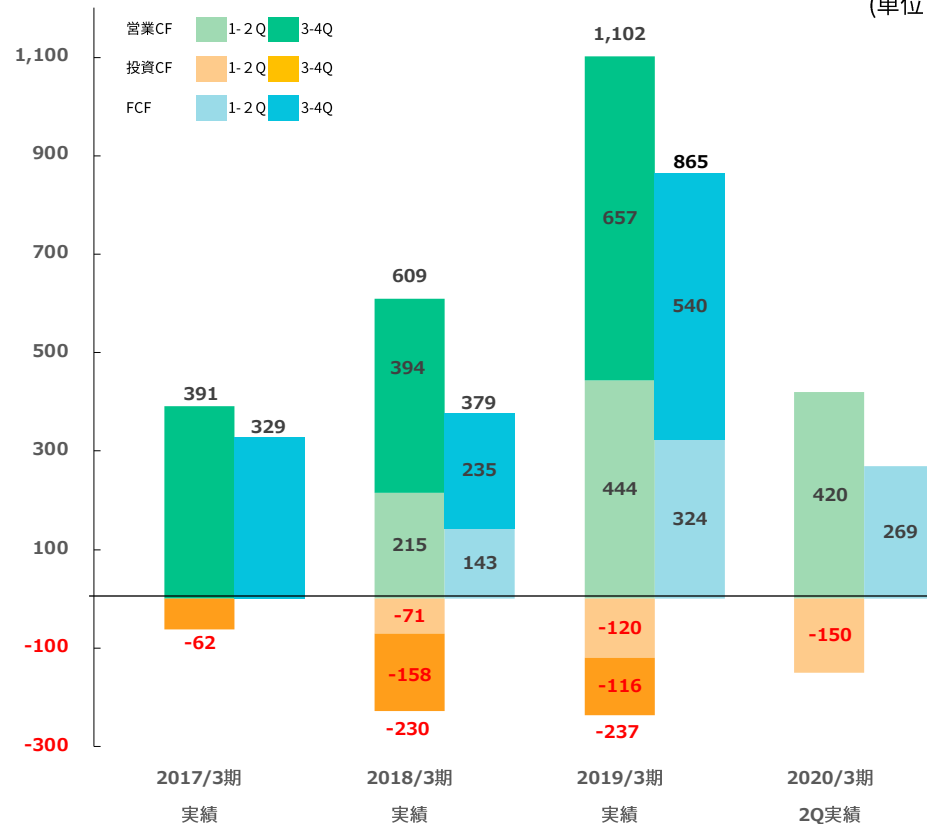
純資産の増減要因	
・純利益計上による利益剰余金の増加	(+614百万円)
・配当金支払いによる利益剰余金の減少	(-115百万円)

## ■営業キャッシュ・フロー及びフリー・キャッシュ・フローは順調に推移

- ✓ 営業活動によるキャッシュ・フローは、当期純利益の計上等により420百万円の獲得  
前2Q実績比では、24百万円減少。未払金及び未払費用が減少したこと等によるもの。
- ✓ 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により150百万円の支出
- ✓ 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済(97百万円)、及び配当金の支払(115百万円)等により256百万円の支出

(単位：百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 実績	2020/3期 2Q実績
営業活動による キャッシュ・フロー	391	609	1,102	420
投資活動による キャッシュ・フロー	-62	-230	-237	-150
(フリー・キャッシュ・フロー)	(329)	(379)	(865)	(269)
財務活動による キャッシュ・フロー	-23	447	-563	-256
現金及び現金同等物の 増減額	305	826	302	12
現金及び現金同等物の 期末(四半期末)残高	765	1,592	1,894	1,907



## ■ 出店の状況

- ✓ 第2四半期累計期間の新規開所は、就労移行支援事業所（ウェルビー）が2拠点、療育事業所が2拠点（ハビー1拠点、ハビープラス1拠点）
- ✓ 第2四半期末時点の運営事業所数は、ウェルビーが69拠点、ハビーが22拠点、ハビープラスが6拠点
- ✓ 期初計画において、今期は、就労移行支援事業所6拠点、療育事業所6拠点、計12拠点を開設予定

## ■ ウェルビーリンク

- ✓ 4月に、当社100%子会社である「ウェルビーリンク」を設立
- ✓ 企業に対して、障害者雇用の総合的なコンサルティング業務を提供
- ✓ 9月に、有料職業紹介事業（人材紹介業）を開始
- ✓ 今期は非連結の予定

## 出店の状況



就労移行支援事業所（ウェルビー）

2019年4月 新潟センター  
2019年9月 草加駅東口センター



児童発達支援事業所（ハビー）

2019年6月 津田沼教室



放課後等デイサービス事業所（ハビープラス）

2019年4月 松戸教室

## ウェルビーリンク



- 設立日は、4月25日
- 出資金として、1,000万円
- 有料職業紹介事業（人材紹介業）を開始
- サテライトオフィス  
開設準備中
- ホームページ公開  
(<https://www.welbe-link.co.jp/>)
- 今期は非連結の予定

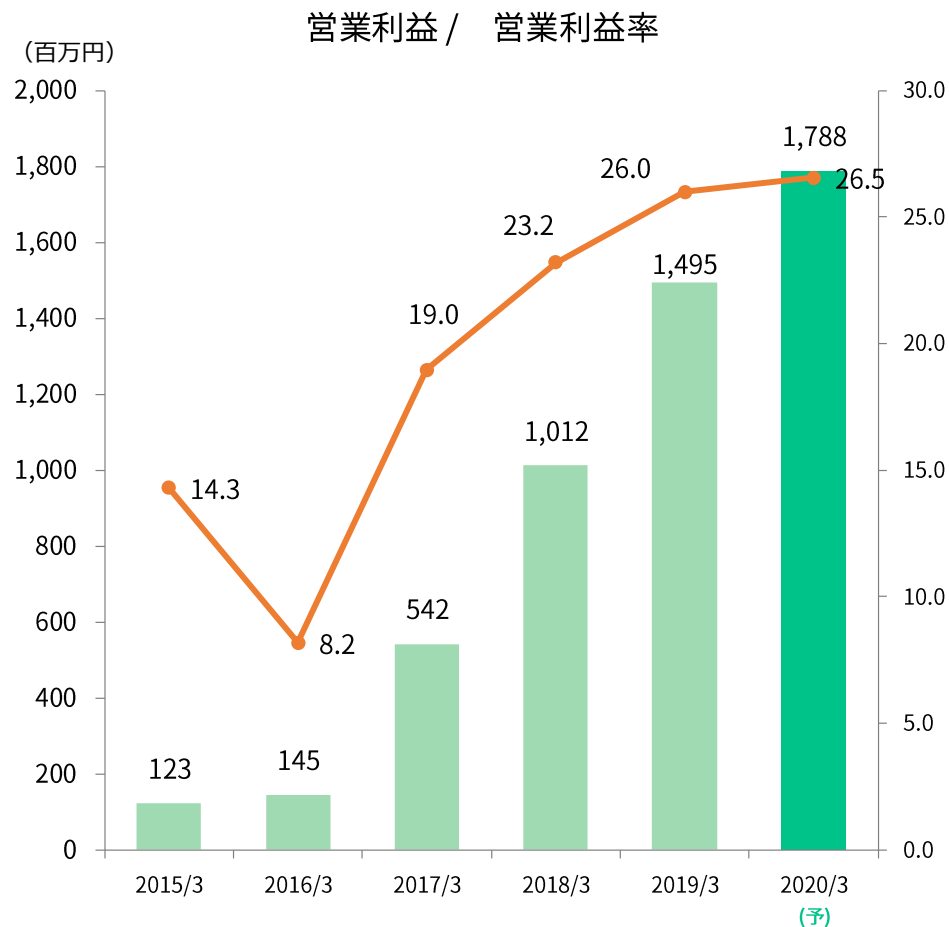
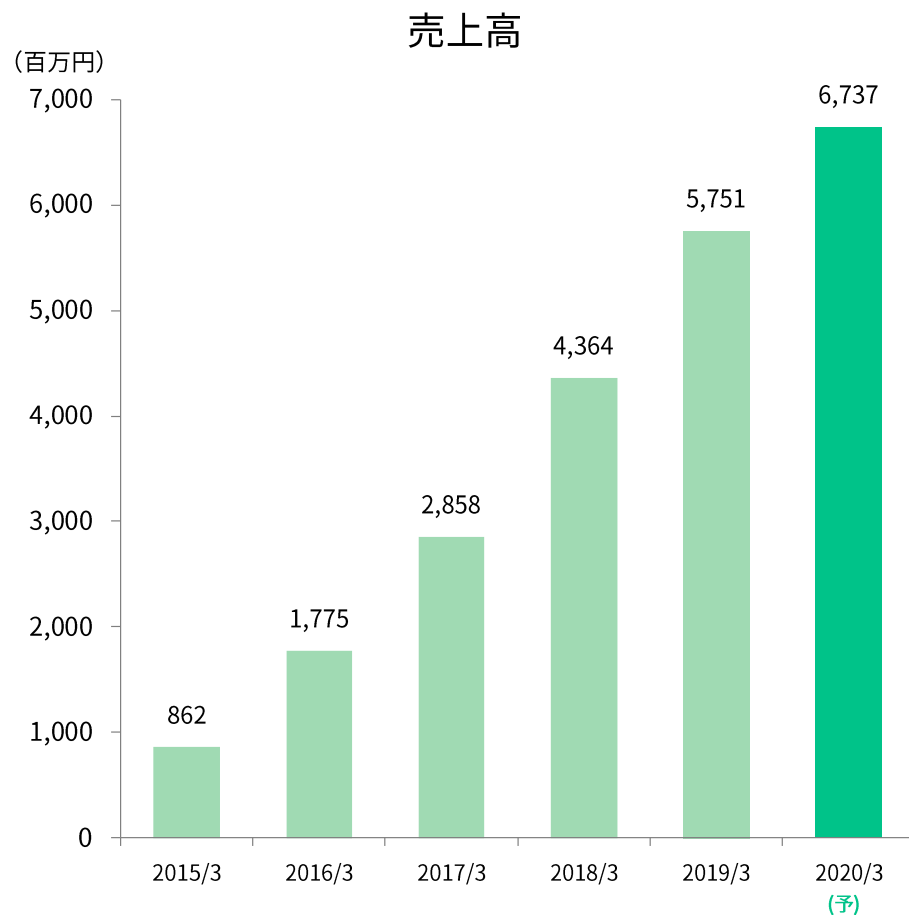
1. 会社・事業概要
2. 2020年3月期第2四半期決算の概要
3. Appendix
  - a. 2020年3月期の業績予想概要
  - b. その他のトピック

- 2020年3月期は、売上高67.4億円、営業利益17.9億円、経常利益17.9億円、当期純利益12.2億円と予想
  - 新規出店は、就労移行支援事業所6センター、療育事業所6教室、計12拠点を予定
  - 就労移行支援事業、療育事業ともに、利用者数は順調に推移していくものと予想
- 就労移行支援事業では、19年3月期と同等以上の定着実績を残せたため、基本報酬は上昇

(単位：百万円)

科 目	2020年3月期		2019年3月期		増減額	増減率
	通期予想		実績			
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比		
売 上 高	6,737	100.0%	5,751	100.0%	+986	+17.2%
営 業 利 益	1,788	26.5%	1,495	26.0%	+293	+19.6%
経 常 利 益	1,787	26.5%	1,471	25.6%	+315	+21.5%
当 期 純 利 益	1,216	18.1%	991	17.2%	+224	+22.6%

■ 売上高67.4億円（前年同期比17.2%増）、営業利益17.9億円（前年同期比19.6%増）、営業利益率26.5%  
 ■ 売上高は増収基調、営業利益は増益基調、営業利益率は同水準を維持

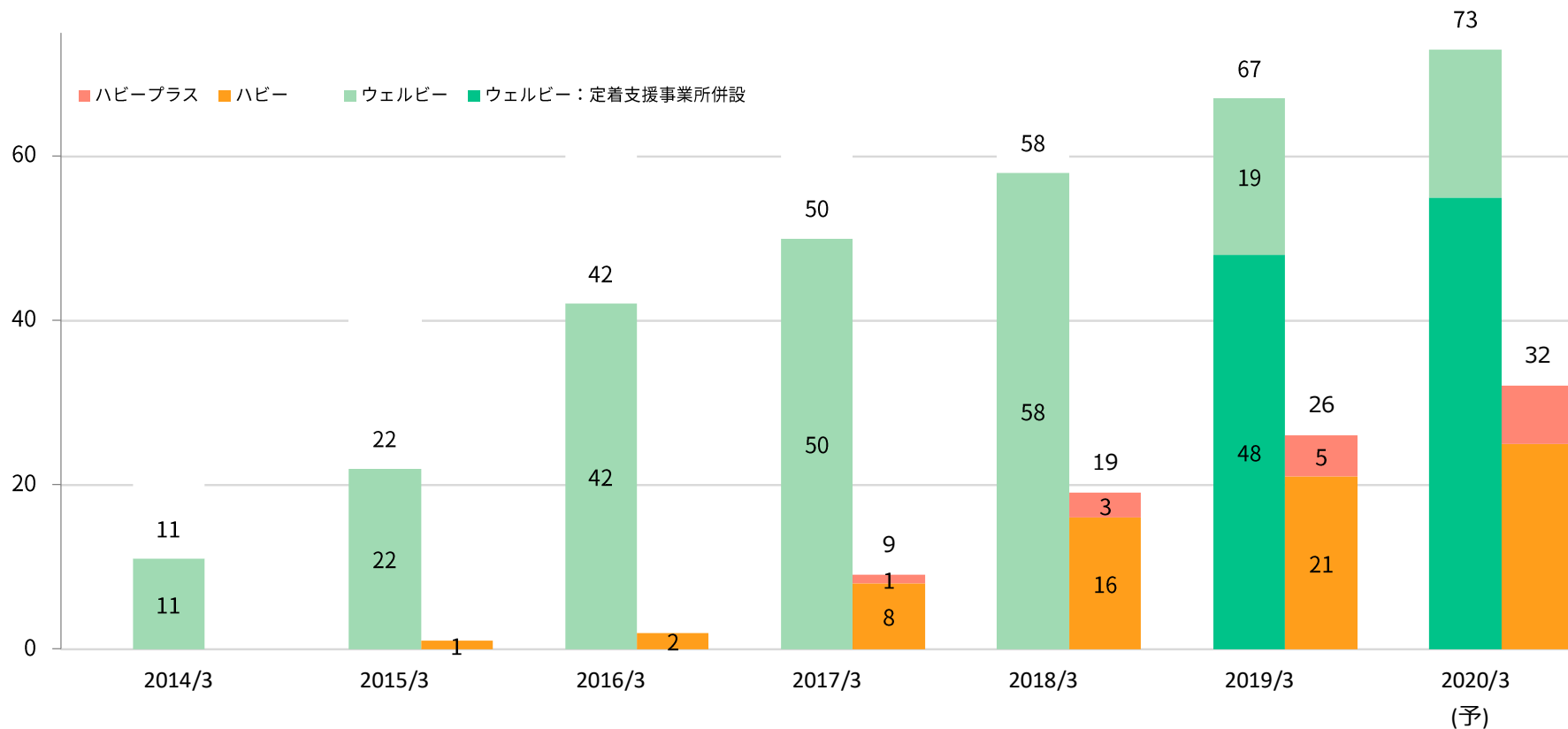


■ 2020年3月期は、主な開設予定として、就労移行支援事業所6センター、療育事業所6教室

✓ 期末時点において、主要3事業(ウェルビー、ハビー、ハビープラス)で、計105拠点を運営の見通し

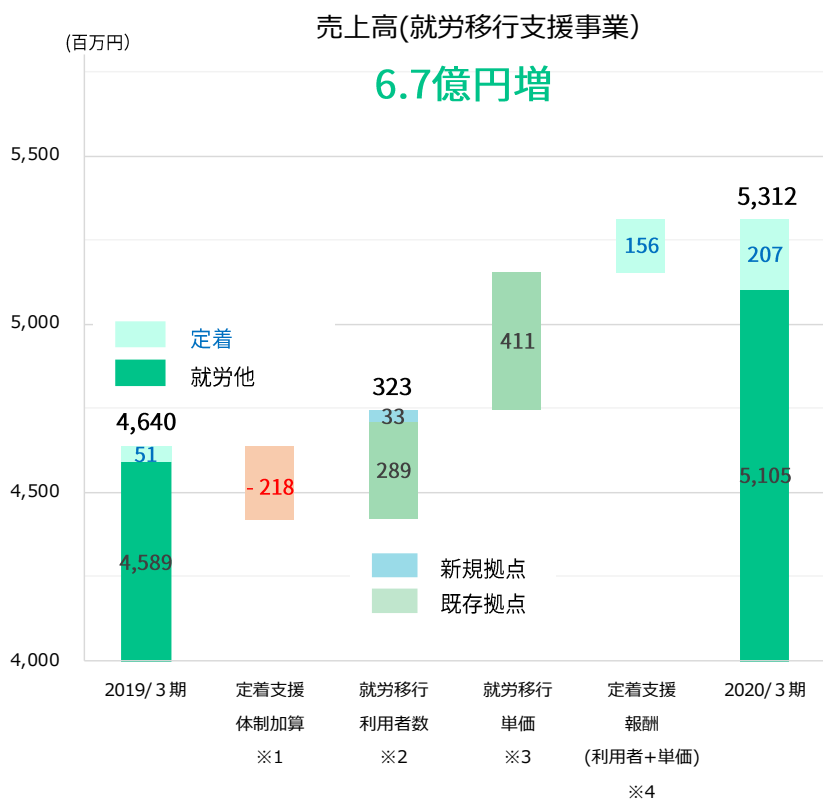
✓ 就労定着支援事業所については、要件が整い次第、順次開所をすすめていく

主要事業所の拠点数推移



### ■ 就労移行支援事業においては、14%の売上増を予想

- ✓ 利用者数は、堅調な増加を見込む
- ✓ 単価は、2019年3月期と同等以上の定着実績を残せたため、基本報酬が上昇



※1 2018年4月から9月まで、就労定着支援事業開始までの準備期間として、従来の「就労定着支援体制加算」の2分の1を取得することができました。2020年3月期は取得できないため、この加算分はマイナスとなります。

※2 就労移行支援事業所においては、利用者数の堅調な推移を見込んでおります。

※3 就労移行支援事業所においては、6カ月職場定着ができた利用者数に基づいて基本報酬が決定されますが、多くの事業所において2019年3月期と同等以上の実績を残せたため、基本報酬は上昇しました。

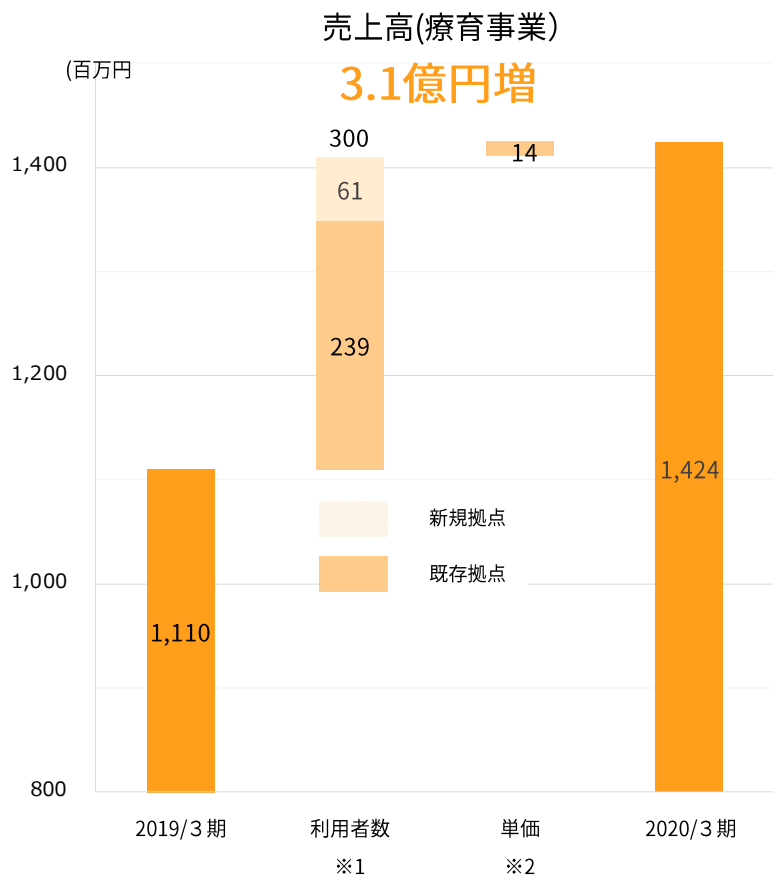
※4 定着支援事業所においては、2019年3月時点で48か所を開所しております。未開所の事業所についても、要件が整い次第(就労移行支援事業所で3人の就職者)、順次開所をしていく予定です。利用者数及び単価については、事業所ごとに、前年度の実績や直近の就職者数、定着者数等に基づいて見積もっております。

※上記の売上高の増減要因分析におけるそれぞれの項目は、簡易的に算出した内部管理用の参考値です。



■ 療育事業においては、28%の売上増を予想

✓ 利用者数は、堅調な増加を見込む



※1

新規事業所における集客に加えて、既存事業所においては稼働率の維持と向上につとめ、**順調な利用者数の増加**を見込んでおります。

2018年4月の報酬改定において、ハッピー(児童発達支援事業所)においては、保育士等の有資格者や児童指導員等を人員基準で定める人数より多く配置した場合に取得できる「指導員加配加算」が拡充され、**最大で2名分まで評価**できるようになりました。

※2

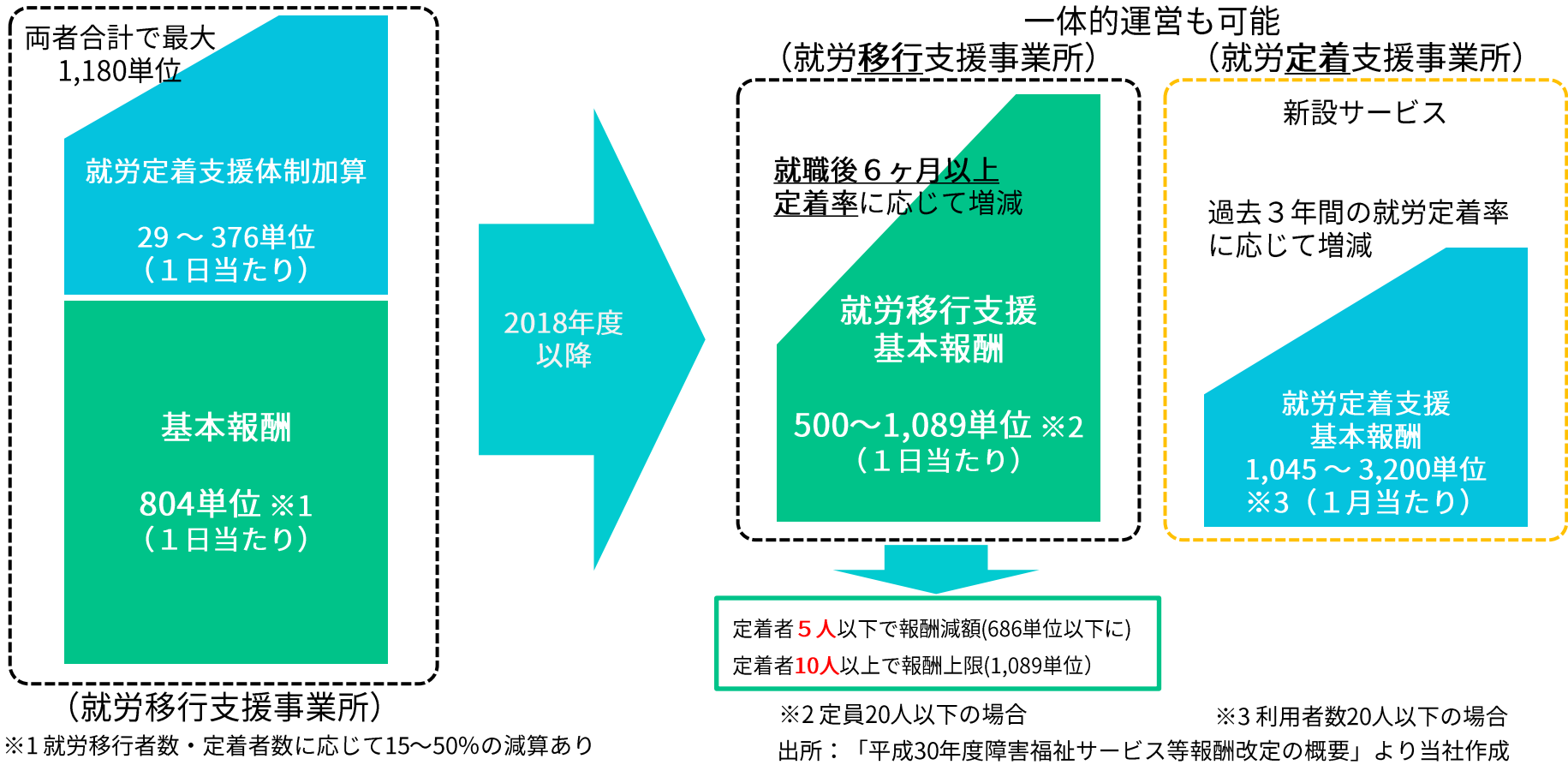
(従来)		→	(2018年4月以降)	
児童指導員等	195単位		専門職員(保育士等)	209単位
指導員	185単位		児童指導員等	155単位
			その他の従業員	91単位
				<b>最大で 418単位</b>

今後予定している児童指導員等の採用も加味しながら、事業所ごとに利用単価を見積もっております。

※上記の売上高の増減要因分析におけるそれぞれの項目は、簡易的に算出した内部管理用の参考値です。

## ■ 2018年の障害福祉サービス等報酬改定（就労移行支援事業）

- ✓ 従来の「就労定着支援体制加算」が廃止となり、「就労定着支援サービス」が新設
- ✓ 就労移行支援の基本報酬は、定着実績に応じて増減



就労移行支援事業所においては、6ヶ月以上定着者を毎年コンスタントに輩出することが重要

就労定着支援事業所においては、効果的な支援を実施し、就労定着率を高めていくことが重要

- 2019年3月期は、合計**7.2円**の配当を実施。当初予想からの増益の結果、期末配当は、**1.2円を増配**
- 2020年3月期は、目標配当性向20%を維持し、**8.8円**を予定

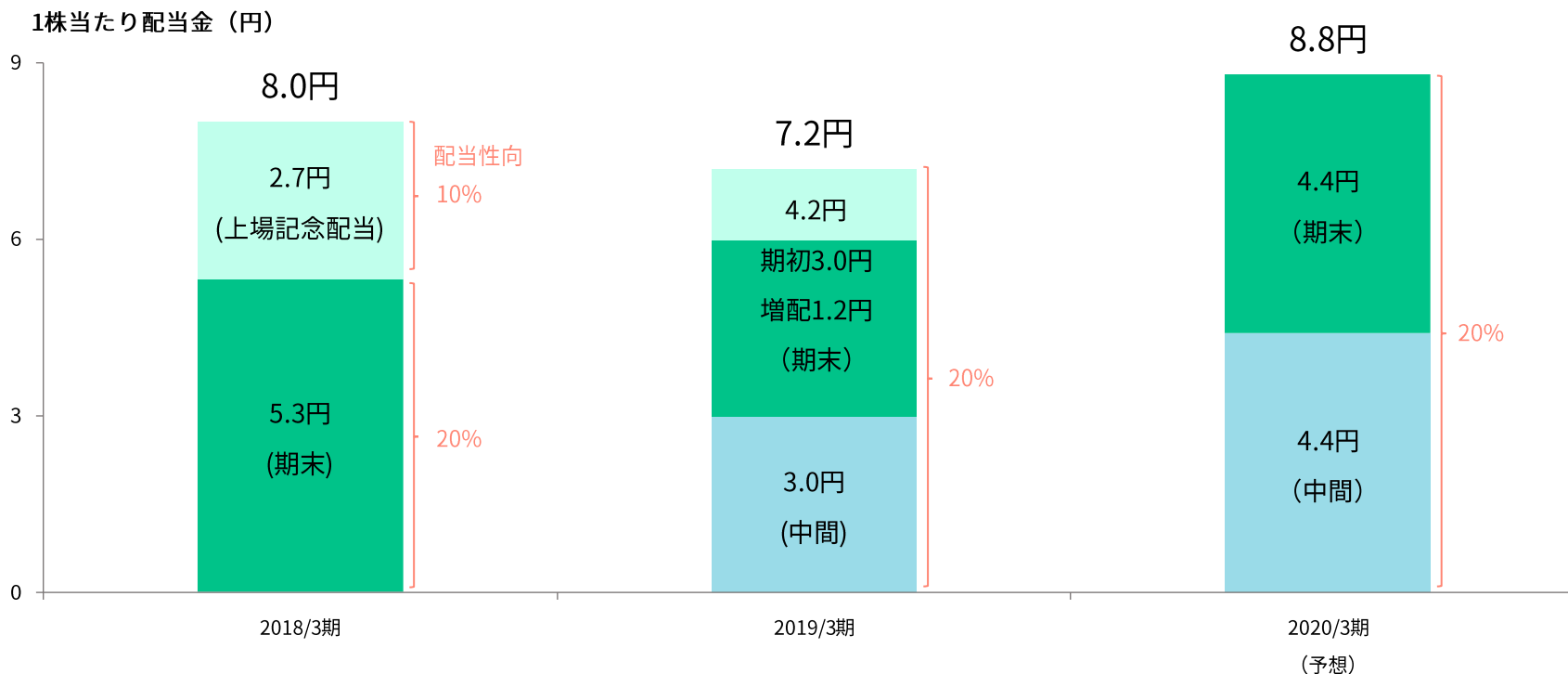
### 配当政策：

長期に亘る安定的な経営基盤の確保を目指し、業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施

健全な財務体質の維持、将来の事業拡大のための、**内部留保の充実**

各期の経営成績、財政状態を**勘案**

**目標配当性向：20%**



※1 2018/3期においては、株式分割の影響を補正しております。また、東証マザーズ上場記念として配当性向10%分を増配しております。

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

## 【お問い合わせ先】

### ウェルビー株式会社 IR担当

TEL : 03-6268-9542  
FAX : 03-6268-9543  
e-mail : [ir@welbe.co.jp](mailto:ir@welbe.co.jp)  
URL : <http://www.welbe.co.jp/>

